



地域協議会だより



☆令和5年度 第3回・第4回 田野地域自治区地域協議会を開催しました☆

●第3回（臨時会） 開催日：令和5年10月11日（水） 午後7時～午後9時

■意見交換

◎地域まちづくりのあり方検討会の報告書について

宮崎市では、平成18年1月の合併を機に、地方自治法に基づく地域自治区制度を導入し、住民主体のまちづくりを推進してきました。しかしながら、制度導入から17年が経過する中、人口減少や高齢化等の社会環境の変化により、地域まちづくりに関する担い手の不足や特定の人材への負担の集中など、様々な課題も見られてきております。

そのようなことから、これまでの地域まちづくりの成果を確認するとともに、今後も地域のまちづくりが、将来にわたり持続可能なものとなるよう、地域まちづくりに関する有識者や地域団体の関係者等による「地域まちづくりのあり方検討会（委員13名）」を令和5年1月に設置し、他の自治体の事例や市民等意識調査の結果等も踏まえ、地域組織の体制や運営、行政支援のあり方等について、検討を行いました。（検討会：8回開催）

そして、令和5年8月に「地域まちづくりのあり方検討会」から宮崎市に対して、「地域まちづくりのあり方検討に係る報告書」が提出されましたので、報告書の内容等に関して、田野地域自治区地域協議会において意見交換を行いました。

◎報告書の内容（抜粋）

【取組（施策）の方向性】

- ①宮崎市独自の地域まちづくり制度への見直し
- ②地域まちづくりの人材発掘・育成
- ③地域コミュニティ活動交付金等の地域団体への財政支援
- ④公立公民館等の指定管理者制度の導入と地域交流・活動拠点の確保
- ⑤地域自治区事務所のあり方
- ⑥地域と行政の役割の整理
- ⑦地域や行政による評価方法の見直し
- ⑧地域まちづくりの区域



【主なご意見等】

- ・合併に伴い、人口や面積が増加するなど、まちの様子も変化した中において、今日まで現制度で進めてきたが、見直す時期が来ており、見直す必要があると思う。
- ・地域自治区制度を見直す場合、地域に負担が掛からないように、地域自治区事務所が担う役割を考えることが重要である。
- ・地域には、それぞれに伝統芸能など多様な価値（宝物）があるため、今の時代背景に沿った組織づくりで地域の若者が活力を発揮できる地域の組織再編が求められる。
- ・地域協議会委員の選出方法の見直しも必要ではないか。各種団体からの選出方法や、幅広い意見を持つ公募の方を増やすなど見直しを行う時期に来ていると思う。
- ・人材の高齢化や固定化、地域住民の当事者意識の不足、活動する人材の不足については、日々活動している者として深刻な問題だと痛感している。
- ・世代交代が進んでいないため、若い世代が地域活動に参加しにくくなっている。自治会や各種団体への加入促進について、真剣に取り組んでもらいたい。
- ・現在の地域自治区事務所は、12地域事務所・6地域センター・4総合支所に分かれているが、住民サービスにおいて大きな差があると感じている。

第4回 開催日：令和5年12月14日（木） 午後7時～午後9時

■報告

◎あけぼの地区市有地の今後について

あけぼの地区市有地については、宮崎市として「売却方針」を進めることが決定いたしました。

今後は、令和6年度の売却に向け、令和5年度中に敷地の測量や不動産鑑定などを実施する予定となっております。



■議題

(1) 令和6年度田野まちづくり協議会事業計画への意見書について

田野まちづくり協議会事務局より、令和5年度田野まちづくり協議会事業の中間報告をしていただきました。

これを受けて、地域の各団体の代表である委員の皆様へ、令和6年度の田野まちづくり協議会の事業に対する意見・要望等があれば、意見書を提出していただくよう依頼しました。

なお、各団体から提出された意見については、事務局にてとりまとめを行った後に、田野まちづくり協議会に意見書として提出し、まちづくり協議会は意見書を参考にしながら、令和6年度の事業を企画していただく予定となっております。



令和5年度 田野まちづくり協議会事業 進捗状況

令和5年12月1日時点

No	部会名	事業名	実施日	内容
1	安心安全部会	防犯・防災事業	通年	学童見守り(月～金)・防犯パトロール(月、火、木、金)
2	特産品開発部会	特産品開発事業	通年	特産品の商品開発
3		田野マルシェ事業	11月12日	おTANOしみマルシェ(あけぼの広場)※共同開催
4	人材育成部会	寺子屋事業	7月～2月	中学生を対象とした勉強会(7月～翌年2月の毎週土曜開催)
5		世代間交流事業	5月～2月	子ども食堂、人形劇、人権DVD等
6	自然環境部会	鱈塚山山開き事業	4月16日	安全祈願祭
7		いこいの里山づくり事業	通年	毎月第1日曜日ボランティア10数名で草刈り、枝おろし
8	地域活力部会	田野駅活性化(ライトアップ)事業	12/1～1/20	6月～イルミ作成・点検、11月やぐら立て、12/1点灯式、1/21撤去予定
9		田野しっちゃが祭り活性化事業	7月15日、16日	お化け屋台、くじ引き
10	健康推進部会	イベント共催事業	8月、11月	太鼓フェスティバル(8/26実施)、マラソン大会(11/19中止)
11		健康ふくしまつり共催事業	10月15日	まちづくり協議会ブースにて「防災グッズ」の展示を実施
12	情報発信部会	高齢者・認知症サポート支援事業	10月29日	認知症サポート養成講座(仏堂園公民館)※尾脇、新村、仏堂園地区
13		広報事業(ポスティング)	3ヶ月毎	町内4,900戸に配布、年4回(3ヶ月に1回)
14	事務局	フォトカレンダー事業	11月	2,500部印刷 ※12月初旬に会員等により公民館長にお届け
15		ふれあい交流事業(共催)	12月3日	来場者の写真撮影(まちづくり協議会写真館)
16		リーダー育成事業	10月3日	宮崎県食品開発センター(佐土原)、マンマルシェ(高鍋)での講習
17		まちづくり協議会運営事業	通年	

(2) フリートーク(テーマ: ボランティアのあり方について)

【主なご意見等】

- ・無理強いすることなく、多世代が気軽に参加できるように、各種団体が連携して、ボランティア参加者の増加に取り組むべきではないだろうか。
- ・小さなことやできることから良いので、無理のない範囲で行うボランティア活動というのが、望まれる時代だと思う。
- ・若い時にボランティア活動を経験することで、次のボランティアに繋がるのではないかと思う。
- ・子どもたちが地域のボランティア活動に参加させていただいたときに、保護者も一緒に活動し、みんなで田野町を作っているのだなという気持ちになった。ボランティア活動を一生懸命している方の背中を見て、人材というのは育てていくものだと感じた。
- ・ボランティアに頼りすぎているという印象がある。暇だからボランティアをやっているという人はいない。ボランティアを当たり前だと思わず、もっと大切にするべきである。

田野地域自治区地域協議会だよりは、宮崎市のホームページでもご覧いただけます↓↓↓

田野地域協議会だより

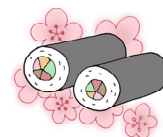
検索

発行: 宮崎市田野総合支所 地域市民福祉課
〒889-1795

宮崎県宮崎市田野町甲2818

(Tel) 0985-86-1111

(Fax) 0985-86-1987



★★★ 田野地域魅力発信プラン 基本理念 ★★★

自然と調和した 思いやりあふれる わにつかの里 田野